

令和6年度いきいきふるさと“夢”支援金事業 評価書

事業名	史跡案内板の整備（富竹陣屋の地域へのどんな足跡を残したか調査）
-----	---------------------------------

■支所長評価

	評価項目	評価の内容
事業効果	目的の達成	上州街道沿いに置かれた富竹の「陣屋」を、地域住民に地域の歴史を再認識してもらうため案内板を2種類2カ所設置し、地域住民に周知することができた。
	地域等への貢献	案内板を通じて地区の歴史を可視化し、江戸時代の文化に思いを馳せ、地元で愛着が生まれるとともに「富竹歴史探訪報告会」を開催した。
	事業の継続	今後も案内板を通して、江戸時代に富竹地区が果たしてきた役割や事実を広く地域住民に周知し、「ふるさと史跡めぐり」等に活用するなど、更なる郷土愛を育んでももらうための一助になることを期待する。
	費用対効果	初年度においては、2枚の説明看板を設置し、ふるさとの歴史、文化を掘り起こすことができた。上記の事業継続の欄に記載のとおり、今後の活用を期待する。

■選考委員協議


<ul style="list-style-type: none">・看板を設置し、地域住民に歴史について認識してもらうよい機会となったと思われる。・地元住民も知らなかった郷土の歴史を発掘し、周知できたことは、大変有意義である。・富竹陣屋について、一昨年の歴史講座で学芸員に断られた経緯があり、歴史的資料が非常に少ない中での住民活動であるが故に、今後の「ふるさと」の歴史や文化に埋もれている地域の特色の再発見や、地域愛護の一助に期待する。・「富竹歴史探訪報告会」も開催され、地域住民の皆様には地区の歴史の再認識が図られ、よかったと思う。案内板においては、年月の管理等をお願いしたい。・案内板の設置位置が車の交通の激しい場所であり、また、人目にも付きにくいこともあり、案内板の効果が感じられないのが残念である。
--

■最終評価

概ね支所長評価のとおり

支所発地域力向上支援金事業実施報告書 (自己評価)

6年12月19日

事業実施地区	古里
事業名	史跡案内板の整備
団体名及び 代表者名	(団体名) 富竹の歴史を語る会 (代表者名) (連絡先) 

■事業概要 (選考委員会の助言を含む)

西富竹地区内に①富竹陣屋跡の案内板を設置した。 ②古里の上州街道の案内板を設置した。 地区内を概し、「ふるさと史跡めぐり」「ふるさと歴史講座」 等を実施展開する。	【事業完了日】 令和6年12月6日 【総事業費】 188,650円 【補助金額】 185,000円
--	--

※活動状況のわかる写真・成果物等を別途添付

■事業効果 (目的の達成度・地域への貢献度等について)

① 案内板を通じて、地区の歴史が徐々に明らかになり、住民一人一人が地元への愛着を完成出来る。
② 陣屋と地区内に存在する古文書に高い関心が高まり、積の増加が一層高まる。
③ 隠れていた富竹の江戸時代の文化の解明が進む。

※参加人数等、数値化して効果を表せるものがあれば数値化したものも加えて記載をお願いします。

■事業評価 (該当欄に○)

	予定を上回る	予定どおり	概ね予定どおり	予定を下回る
事業の内容		○		
事業の効果		○		
特記事項 (評価理由等)				

■今後の取組予定

<ul style="list-style-type: none"> 富竹地区の住民に対し「富竹歴史探訪報告会」を2月9日(日)に開催を予定。 西富竹地区育成会に対し「富竹歴史探訪報告会」と「案内板巡り」を10月頃に実施を予定。
--

